

第694回:判じ読み銘柄

このコラムで何度か書いてきたことだが、中国株を取り扱うとき、しばしば困惑するのが銘柄の表記だ。香港や上海・深圳に上場する銘柄が、全て中国銀行(03988.HK)や上海電気集団(02727.HK)のような社名だったら、“意味”も“読み方”も日本語と一緒にだから、そのまま「ちゅうごく銀行」、「シャンハイ電気」と読めるし、英語表記の「Bank of China」、「Shanghai Electric Group」も合点がいく。

香港・本土銘柄の多数が中国本土に経営基盤を持つがゆえに、登記上の社名を漢字表記とするケースが多く、中国銀行や、中国平安保険、中国石油天然気のように平易な名称なら良いが、往々にして、日本人には読めないどころか、意味すら理解できない類の企業銘柄ある。わが東洋証券の TOYO CHINA Monthly 2022 年 5 月号にも、こんな銘柄が紹介されている。

Jiangsu Azure Corporation ジアンスー・アジュール 江蘇蔚藍リ芯(002245.SZ)

どう云う料簡で、こんな三段表記としたのか不詳なるも、想像するに上段の「Jiangsu Azure Corporation」は英文社名、中段の「ジアンスー・アジュール」はそのカタカナ読み、そして下段の「江蘇蔚藍リ芯」は中国語の社名らしい。カタカナの「リ」は、「リ」と読めそうだが、常用漢字にない漢字が出て来て)日本語の PC では対応できないので、カタカナの「リ」で代用したつもりらしい…あくまで筆者の推測だが。

この三段表記は感心しない。「江蘇蔚藍リ芯」なんて名は削除し、英文名だけにするのが良い。もしくは(社名の由来を理解しているなら)注釈を入れるべき…読者の大半は日本人なのだから。「江蘇蔚藍リ芯」で企業イメージが掴める人は、高学歴の中国人だけだろう…「リ」のカラクリが分かるか否かは不詳だが。

この社名を見て「分からない、読めない」などと嘆く必要はない。こんな名称を、注釈抜きで表記する方がおかしい。「江蘇蔚藍鋰芯股份有限公司(002245.SZ)」は深圳 A 株に上場し、江蘇省張家港市に本拠を置くリチウム電池や発光ダイオードチップ等のテクノロジー製品に強みを持つ電池メーカー。強引に音読みすると「こうそ・うつらん・りしん」か。行き掛かり上、判じ物のような謎の 6 文字を解説してみよう。

- ◆ 江蘇:「こうそ」は日本でもそれなりに有名な地名。中国最大の産業都市上海は、「呉越同舟」で有名な呉国(首都は今の蘇州市)と、越国(同、今の紹興市)が交わる海辺に位置し、呉の勢力圏だった地域が江蘇省で、越の勢力圏が浙江省だ。中国省別 GDP ランクが上から①広東省、②江蘇省、③山東省、④浙江省と続ように、江蘇省は蘇州・無錫・揚州・南京など全国トップレベルの産業都市を擁す。
- ◆ 蔚藍:「うつらん」。杜甫の漢詩「冬到金華山観因得故拾遺陳公草堂遺跡《冬に金華山の道教寺院を訪ねたら、陳子昂拾遺公(初唐の詩人)が幼い頃に学んだ草堂跡があった》」の中に、「上有蔚藍天、垂光抱瓊臺」とある。濃いスカイブルーの色で、日本語で「蔚藍(うつらん)」と読む。「漢字検定一級」に出る難字だから日本の諸賢が知らないのは当たり前だ。南フランスの風光明媚な保養地リヴィエラ海岸を指す「コート・ダジュール(Côte d'Azur)」は、中国語で「蔚藍海岸」だ。
- ◆ 「リ」:カタカナ「リ」は「鋰」の転用だった。中学生の頃、「水兵リーベ僕の船、七曲リシップスクラークか」と必死になって覚えた元素記号、水素・ヘリウム・リチウム・ベリリウム…の第 3 位「リチウム」に当てはまる適当な字が中国にないので、中国の科学者が新造した漢字が「鋰」だ。「リ芯」とは、「鋰芯」のことで、「リチウム電池用の芯体」のことだろう…たぶん。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

「呼称批判」のみ書き連ねるのも“あぢきなしゆゑ”、銀行銘柄の紹介と分類を少し披露しよう。中国の大手銀行と云えば、①**中国工商銀行**(Industrial and Commercial Bank of China 01398.HK)、②**中国建設銀行**(China Construction Bank 00939.HK)、③**中国農業銀行**(Agricultural Bank of China 01288.HK)、④**中国銀行**(Bank of China 03988.HK)の4行が、中国国内では一般的には「四大銀行」と呼ばれている。

中国が改革開放政策を開始する以前の計画経済時代には、中国人民銀行(=中央銀行)の貯蓄部門が現在の中国工商銀行で、それ以外には国際業務専門の「中国銀行」、農業部門を統括する「中国農業銀行」、そしてインフラ投資部門の「中国建設銀行(当時は中国人民建設銀行)」しか、本土に銀行はなかった。

だから今でも「四大銀行」と呼ばれているが、近年中国では銀行が雨後の筍のように増加しており、金融当局は最近四大銀行に、⑤**中国郵政貯蓄銀行**(Postal Savings Bank of China 01658.HK)と、⑥**交通銀行**(Bank of Communications 03328.HK)を加えた六行をメガバンク＝「**大型商業銀行**」として分類している。

そしてこの「大型商業銀行(6行)」に続くのが「**全国制商業銀行**(12行)」だ。即ち⑦**招商銀行**(03968.HK)、⑧**浦発銀行**(600000.SH)、⑨**中信銀行**(00998.HK)、⑩**中国光大銀行**(06818.HK)、⑪**華夏銀行**(600015.SH)、⑫**中国民生銀行**(01988.HK)、⑬**広発銀行**(未上場)、⑭**興業銀行**(601166.SH)、⑮**平安銀行**(000001.SZ)、⑯**浙商銀行**(601916.SH)、⑰**恒豊銀行**(未上場)、⑱**渤海銀行**(09668.HK)の面々である。日本の都銀に近い。

これら大手銀行を、(大雑把な)「総資産」順に並べると①**工商**(35兆元、1元≒19円)、②**建設**(30兆元)、③**農業**(29兆元)、④**中国**(26兆元)、⑤**郵貯**(12兆元)、⑥**交通**(11兆元)となり、下位の郵貯銀行と、交通銀行の資産規模は、むしろ全国制商業銀行の筆頭・招商銀行(9兆元)に近いレベルなのだが、中国政府の戦時的、戦略的思惑などもあるようで、六大銀行の一角を占めている。

因みに交通銀行は1906年に当時の清朝が、郵便・電信事業を管轄する郵電部を設置し、傘下に銀行を設立したのがルーツであるため、英文社名は交通=Trafficではなくて、Communicationsである。

ついでに云えば、中国のフラッグ・キャリアーで「フェニックス」をロゴとする中国国際航空(00753.HK)も、そのまま漢字読みできるし、英文名の「Air China(エア・チャイナ)」もすんなり理解できる。

でも、一寸注意する必要があるのは、台湾のエアライン最大手が「梅の花」をロゴとする「中華航空」で、英文名称が「Chia Airline」、略称「チャイナ・エア」だ。中国と台湾とは微妙な関係にあり、エア・チャイナと、チャイナ・エアを混同する日本人が多いのは、現地駐在員にとってホントに困る。

むかし上海駐在員だったころ、日本から北京や上海にやって来る日本人出張者たちが、「チャイナ・エアのサービスはなっていない・・・」など文句を垂れるのを聞き、「このおっさん、毛沢東と蒋介石の区別ができないのかな?」とよく愚痴をこぼしたものだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2022年(令和4年)4月28日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 1.1000% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。